

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 1 月 23 日 (2014.1.23)

【公開番号】特開 2012-115803 (P2012-115803A)

【公開日】平成 24 年 6 月 21 日 (2012.6.21)

【年通号数】公開・登録公報 2012-024

【出願番号】特願 2010-270126 (P2010-270126)

【国際特許分類】

C 0 2 F 1/72 (2006.01)

C 0 2 F 1/52 (2006.01)

【 F I 】

C 0 2 F 1/72 Z

C 0 2 F 1/52 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 12 月 3 日 (2013.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金属イオンと配位結合を形成する有機化合物を含む、静電荷像現像用トナーの製造工程から排出される水を処理対象とし、

前記処理対象の水のフェントン処理を行うフェントン処理手段と、

前記フェントン処理が行われたフェントン処理水の汚泥の固液分離を行う固液分離手段と、

前記固液分離された汚泥の少なくとも一部を還元処理せずに前記処理対象の水に返送する返送手段と、

を有することを特徴とする水処理装置。

【請求項 2】

前記固液分離手段の前段側に、前記フェントン処理水の pH 調整を行う pH 調整手段を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の水処理装置。

【請求項 3】

金属イオンと配位結合を形成する有機化合物を含む、静電荷像現像用トナーの製造工程から排出される水を処理対象とし、

前記処理対象の水のフェントン処理を行うフェントン処理工程と、

前記フェントン処理を行ったフェントン処理水の汚泥の固液分離を行う固液分離工程と

、
前記固液分離した汚泥の少なくとも一部を還元処理せずに前記処理対象の水に返送する返送工程と、

を含むことを特徴とする水処理方法。

【請求項 4】

前記固液分離工程の前段側に、前記フェントン処理水の pH 調整を行う pH 調整工程を含むことを特徴とする、請求項 3 に記載の水処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項1に係る発明は、金属イオンと配位結合を形成する有機化合物を含む、静電荷像現像用トナーの製造工程から排出される水を処理対象とし、前記処理対象の水のフェントン処理を行うフェントン処理手段と、前記フェントン処理が行われたフェントン処理水の汚泥の固液分離を行う固液分離手段と、前記固液分離された汚泥の少なくとも一部を還元処理せずに前記処理対象の水に返送する返送手段と、を有する水処理装置である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項3に係る発明は、金属イオンと配位結合を形成する有機化合物を含む、静電荷像現像用トナーの製造工程から排出される水を処理対象とし、前記処理対象の水のフェントン処理を行うフェントン処理工程と、前記フェントン処理を行ったフェントン処理水の汚泥の固液分離を行う固液分離工程と、前記固液分離した汚泥の少なくとも一部を還元処理せずに前記処理対象の水に返送する返送工程と、を含む水処理方法である。